

周年行事特集

開校50周年を祝う集会

11月18日(木)開校50周年を祝う集会を実施しました。

1・2年生は絵本「学校だってときどきしてる」の音読発表と「お誕生日の歌」、3年生は七小の今と昔を比べて作ったクイズ、4年生は“七小調査隊”によるアンケート結果の発表、けやき・ひのき学級は開校50周年を祝う横断幕の披露、5・6年生は呼びかけ「慶びの言葉」と合奏「1812年」など、各学年が七小の開校50周年を祝う出し物を行い盛大にお祝いしました。

各学年の出し物後は、七小の元教員でもあり卒業生の方にお越しいただいて、七小の開校当時の話を聞きました。

七小の50周年を祝うと共に、これからもみんなで七小を大切にしていこうという気持ちが高まる集会となりました。

開校50周年記念式典

11月20日(土)に、清瀬第七小学校開校50周年記念式典が厳かに行われました。当日は、晴天の下たくさんの来賓の方がいらしてくださいました。本校からは、5・6年生が代表として参加し、呼びかけ「慶びの言葉」、「清瀬讃歌」の合唱、「1812年」の合奏を行いました。この日のために、5・6年生は、たくさん練習を重ねてきました。当日には、その練習の成果を存分に発揮した、立派な姿を見ることができ、来てくださった方やライブ配信を見ていた方からもお褒めの言葉をたくさんいただきました。

慶びの言葉の中にもあったように、これからも、一人一人の笑顔が輝く学校となるように、未来に向かって新しい一歩を、踏み出していきます。



校歌



「慶びの言葉」



卒業生の話



お誕生日の歌(1年生)



横断幕(けやき・ひのき学級)

松山DX祭

11月20日(土)、素晴らしい式典の後の午後は、松山DX祭が行われました。

午前中から引き続き、気持ちのよい青空の下、地域の方々がたくさんの遊びコーナー、出店、ダンスや展示コーナーを出してくださいました。フランクフルトや綿あめ、紙飛行機や輪投げ、パン焼きやヤギとのふれあい、他にもほんとうに多くのお店があり、子供たちは飽きることなくあっという間に時間が過ぎていったようでした。また体育館でのダンス発表では、在校生や卒業生も澁刺と踊っており、学校での顔とはまた違った一面を見ることができ、とても輝いていました。

これまで、コロナ禍で長い自粛を強いられてきた中、その我慢を晴らすように楽しむ子供たちの姿がたくさん見られました。また、多くの卒業生が遊びに来てくれたり、親子で楽しんでいる様子も見られたりし、癒されるようなひと時を過ごすことができました。予想していたよりも遥かに多くの方にご来場いただいて楽しんでいただき、大成功でした。

最後に、松山DXメンバーをはじめ、この祭のためにご尽力くださった皆様、感染症対策を含めてほんとうに多くのことを考えて準備していただきました。心より感謝申し上げます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



ダンス発表



楽器体験



パン焼き